

第2号報告資料

令和3年度事業報告書

(令和3年2月1日から令和4年1月31日まで)

①会員の研究発表会、学術講演会等の開催（定款第4条第1号）

- ・第121回日本外科学会定期学術集会をWebを中心とした開催方式で、下記のとおり行った。

日時 令和3年4月8日～10日（アーカイブ配信は5月31日まで）

参加者数 16,683名 演題数 2,249題

テーマ「理術そして熱情～外科学再興～」

- ・学術集会の在り方を検討して、3年続けて同一のサブスペシャルティ領域（消化器外科領域）が会頭を務めないこととする旨を申し合わせた。
- ・「日本外科学会学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」を検証した。

②機関誌、論文図書等の刊行（定款第4条第2号）

- ・学会誌「日本外科学会雑誌」を下記のとおり発行した（通常号は電子ジャーナルとして発行し、希望により配本とした）。

発行年月日	巻	号	発行部数
令和3年3月1日	122	2	8,710
令和3年5月1日	122	3	9,230
令和3年7月1日	122	4	8,980
令和3年9月1日	122	5	8,980
令和3年11月1日	122	6	9,000
令和4年1月1日	123	1	9,100

- ・Official Journal「Surgery Today」およびオンライン・ファーストを下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数（電子ジャーナル発行分含む）
令和3年2月1日	51	2	40,000
令和3年3月1日	51	3	40,000
令和3年4月1日	51	4	40,000
令和3年5月1日	51	5	40,000
令和3年6月1日	51	6	40,000
令和3年7月1日	51	7	40,000
令和3年8月1日	51	8	40,000
令和3年9月1日	51	9	40,000
令和3年10月1日	51	10	40,000
令和3年11月1日	51	11	40,000
令和3年12月1日	51	12	40,000
令和4年1月1日	52	1	40,000

- ・Case Report誌「Surgical Case Reports」を下記のとおり電子ジャーナルとして発行した。

発行年月日	巻
令和3年2月1日	7

令和3年 3月1日	7
令和3年 4月1日	7
令和3年 5月1日	7
令和3年 6月1日	7
令和3年 7月1日	7
令和3年 8月1日	7
令和3年 9月1日	7
令和3年10月1日	7
令和3年11月1日	7
令和3年12月1日	7
令和4年 1月1日	8

- ・第120回日本外科学会定期学術集会までの歴史と、過去20年間に取り組んだ課題を纏めた記念誌を発行し、希望者に配布した。

③内外の関係学術団体との連絡及び提携（定款第4条第3号）

- ・ German Surgical Society (GSS), American College of Surgeons (ACS), Society of University Surgeons (SUS), College of Surgeons of East, Central and Southern Africa (COSECSA), The Association of Surgeons of India (ASI) などと持続可能な学術交流を行う予定であったが、昨年度に引き続き新型コロナウイルス (COVID-19) の感染状況の影響により延期とした。
- ・ Royal College of Surgeons England (RCS) の International Surgical Training Programme (ISTP) の募集を本年度も停止とした。
- ・ 日本医学会, 日本医学会連合, 日本医療機能評価機構, 日本女性外科医会, 「2020年東京オリンピック・パラリンピックに係る救急災害医療体制を検討する学術連合体」の活動に積極的に参画した。
- ・ 外科系18学会と外科関連学会協議会を組織して, 外科系の横断的な諸問題を協働で検討した。

④外科学に関する研究及び調査（定款第4条第4号）

- ・ 標準手術ビデオを5本作成して, ビデオライブラリーに収載した。
 - 平田 敬治 (産業医科大学第1外科)
 - 「局所進行下部直腸癌に対する術前補助療法後の腹腔鏡下直腸 (超) 低位前方切除術」
 - 小川 朋子 (三重大学乳腺外科)
 - 「下部領域乳癌に対する乳房温存手術—比較的容易に施行可能な volume replacement technique」
 - 小野 稔 (東京大学心臓外科)
 - 「補助人工心臓装着例における心臓移植」
 - 佐田 尚宏 (自治医科大学医学部外科学講座消化器一般移植外科学部門)
 - 「臍手術における臍臓の切離と吻合」
 - 田尻 達郎 (京都府立医科大学小児外科)
 - 「巨大後腹膜奇形腫の手術戦略」

- ・「外科臨床研究の利益相反に関する指針」に基づき、該当者から利益相反自己申告書を回収した。

⑤外科専門医の育成と専門医制度の運用（定款第4条第5号）

- ・日本専門医機構と協働して、「外科領域専門研修プログラム」を審査し、専攻医の研修登録を行い、専攻医の研修状況を管理すると共に、外科専門医の認定試験を代替方式で実施するための準備を行った。
- ・日本専門医機構と協働して、専門医共通講習および外科領域講習を開催する（E-learningを含む）と共に、関連学会が開催する専門医共通講習および外科領域講習について審査を行った。
- ・外科専門医制度に則り、外科専門医を認定し、指導医を選定し、認定登録医を登録し、指定施設と関連施設を指定した。
- ・外科専門医予備試験（筆記試験）を試行的にCBT方式で実施した。
- ・外傷講習会をE-learningで配信し、また、日本外傷診療研究機構、日本Acute Care Surgery学会、日本腹部救急医学会、日本外傷学会などの協力を得て、専攻医の外傷の修練を強化した。

⑥研究の奨励と優秀な業績の表彰（定款第4条第6号）

- ・第25回臨床研究セミナーをE-learningで配信すると共に、今後の開催方式もE-learningとした。
- ・研究奨励賞（Surgery Today Research Award）をSurgery Today 優秀論文賞（Best Surgery Today Award）と改称し、審査分野も「一般・小児」「消化管」「呼吸器」「乳腺・甲状腺」「心臓血管」「肝胆膵・移植」とした。
- ・第121回定期学術集会のビデオ演題のうち、優秀な9演題をビデオライブラリーに収載して、制作補助費を支給した。

笠原 真悟（岡山大学学術研究院医歯薬学域心臓血管外科）

「Surgical treatment of Ebstein anomaly—Tricuspid valve repair for neonate to adult—」

池田 正孝（兵庫医科大学消化器外科学講座下部消化管外科）

「Standardization of Beyond TPE Resection」

中川 直哉（東京医科大学消化器・小児外科学分野）

「腹腔鏡下・ロボット支援下臍頭十二指腸切除における拡大視効果をもたらすSMA周囲リンパ節郭清のアプローチ法—動脈神経叢外層（Outermost Layer）をランドマークとした郭清法—」

角田 茂（京都大学消化管外科）

「臓器鞘コンセプトに基づくロボット支援胸腔鏡下上縦隔リンパ節郭清」

矢野 智之（がん研有明病院形成外科）

「アラガン&コロナショックがもたらした乳房再建のトランスフォーメーション」

井上 匡美（京都府立医科大学呼吸器外科学）

「気管支断端瘻～開窓か一期的閉鎖か？～」

信久 徹治（姫路赤十字病院外科）

「食道胃接合部癌に対する逆流2重防止再建」

北口 大地（国立がん研究センター東病院大腸外科/手術機器開発室）

「イメージナビゲーションを用いた TaTME における尿道損傷回避への取り組み」

橘 一俊（函館五稜郭病院心臓血管外科）

「Minimally Invasive Cardiac Surgery-Multivessel Off-pump CABGにおける Virtual Reality Simulation の有用性」

- ・「日本外科学会臨床研究助成」(JSS Clinical Investigation Project Award) の補助金を支給した (1名).

秋吉 高志（がん研究会有明病院消化器センター大腸外科）

「進行下部直腸癌に対する待機療法に関する多施設ランダム化第 II 相試験および待機療法の前向きコホートを用いた縦断的循環腫瘍 DNA 解析」

- ・「若手外科医のための臨床研究助成」(JSS Young Researcher Award) の補助金を支給した (5名).

河野 幹寛（九州大学大学院消化器・総合外科）

「M2 マクロファージを標的とした特発性肺線維症合併肺癌の新規治療戦略の開発」

永田 健（防衛医科大学校外科学講座）

「癌関連線維芽細胞を標的とした新たな治療薬開発のための基盤研究」

三上 拓真（札幌医科大学医学部心臓血管外科学講座）

「冠動脈バイパス術におけるグラフト周囲脂肪組織が開存率に与える影響についての研究」

森 治樹（滋賀医科大学外科学講座消化器・乳腺・一般外科）

「リン酸化プロテオーム解析に基づく肝臓癌の新規分子標的治療薬の探索」

八重樫瑞典（岩手医科大学外科学講座）

「Digital PCR による ctDNA モニタリングを用いた大腸癌遠隔転移切除症例の予後予測因子の検討」

- ・National Clinical Database (NCD) を活用した臨床研究の助成を検討すると共に、複数領域に跨る NCD データを利活用した臨床研究を行う場合の調整窓口を務めた。

⑦生涯学習活動の推進（定款第4条第7号）

- ・第98回卒後教育セミナーを E-learning で配信した。

テーマ「海外におけるテロ発生時の対応と外傷診療の経験から学ぶ/『Beyond the Theory』—待ったなしの外傷診療—」

演者

- ・第99回卒後教育セミナーを E-learning で配信した。

テーマ「肛門疾患の診断、治療—内痔核・痔瘻・裂肛—/下肢静脈瘤」

⑧外科診療に関する情報や指針の提供（定款第4条第8号）

- ・National Clinical Database (NCD) に参加し、外科症例登録のデータベース事業に協力した。

- ・「臨床医学の教育研究における死体解剖のガイドライン (Guidelines for Cadaver Dissection in Education and Research of Clinical Medicine)」に基づく Cadaver Surgical Training (CST) の普及を図った。

- ・AMED 採択の研究課題「手術支援ロボットを用いた遠隔手術のガイドライン策定に向けた

実証研究」として、「遠隔手術ガイドライン」の作成と、実証研究を行った。

- ・新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の対策を検討すると共に、「NCDデータを用いたコロナ感染の外科手術に対する影響およびトリアージの実態調査研究」を行い、結果を公表した。

⑨国民に対する外科医療の情報提供の啓発（定款第4条第9号）

- ・広報活動として、第47回市民講座をWebで開催し、ホームページ上で動画配信を行った。
配信期間 令和3年4月8日～5月31日
テーマ「肥満とがんって関係あるの？—肥満の治療は？がんの治療は？」

⑩医療政策に関する建議（定款第4条第10号）

- ・外科系学会社会保険委員会連合（外保連）に参加し、外科技術料に関する適正な診療報酬についての調査収集と、その結果を基にした関係官庁などへの要望書提出に協力した。
- ・「医療事故調査・支援センター」（日本医療安全調査機構）の支援団体として、死因の調査分析事業に協力した。
- ・「学会認定・臨床輸血看護師制度協議会」に協力した。
- ・「特定行為に係る看護師の研修制度」を支援し、外科医の労働環境の改善に向けたタスクフォートの普及を図った。
- ・外科医の適正数について検討し、外科医へのインセンティブの付与などを関係官庁に要望した。
- ・外科医の無過失補償制度について検討した。

⑪その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第11号）

- ・電子投票により、代議員の選任を行った。
- ・財務の健全化に向けた検討を行った。
- ・ホームページのリニューアルを行った。
- ・事務所の移転を行った。
- ・事務局職員のリモートワーク化を行った。